

(2) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

① 開催に向けた平成 29 年度の主な取組について (資料 2-2)

② 金亀公園 ((仮称) 彦根総合運動公園) 整備について (資料 2-3)

③ 競技力向上対策について (資料 2-4)

(2) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会

～ 開催に向けた平成29年度の主な取組 ～

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-4]

国体・全スポ開催準備委員会

負担金 28,300千円

(1) 各競技会場の選定

- ◆正式競技・特別競技については、平成29年3月開催の「総務企画専門委員会」において9競技、7月開催の同専門委員会で追加内定案を決定のうえ、7月下旬開催予定の「常任委員会」に諮り決定。
- ◆平成30年に実施予定の中央競技団体正規視察までに、すべての競技会場を内定できるよう調整を継続。
- ◆公開競技や全国障害者スポーツ大会正式競技の会場選定に着手。

(2) 開催準備委員会における大会準備

①「開催基本構想」の検討着手

- ◆「総務企画専門委員会」において、平成31年の大会開催内定に向け策定する「開催基本構想」の検討に着手。

②競技役員等の養成

- ◆平成27年8月に決定した「競技役員等養成基本計画」に基づき、審判員等の資格が必要な役員等の養成を行う競技団体に対し補助金を交付。

③宿泊・衛生/輸送・交通にかかる検討着手

- ◆「宿泊・衛生専門委員会」と「輸送・交通専門委員会」を設置し、大会開催時の配宿計画や衛生対策、輸送計画や交通規制等の検討に着手。

④全国障害者スポーツ大会の準備

- ◆「全国障害者スポーツ大会専門委員会」において、国体・全スポの一体感ある開催に向けた具体的方策を検討するとともに、会場の選定に向けて議論。

(3) 開催機運醸成に向けた取組

①国体・全スポマスコットキャラクターの決定・大会専用HPの開設

- ◆平成28年度から選定作業を進めているマスコットキャラクター(キャプフィー+関連キャラクター)の決定を行い、キャラクターを活用した大会広報・啓発を実践。
- ◆大会専用ホームページを開設し、インターネットを通じ効果的に情報を発信。

②募金活動の展開

- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、県民・企業の皆さんに対して積極的に呼びかけを実施。
- ◆いただいた寄附金は、当面「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費や、(仮称)彦根総合運動公園・新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。
- ◆新たにクラウドファンディングによる寄附募集の導入を検討。

③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム第4期)活動の展開

- ◆他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として、小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、国体・全スポはもとより、広く県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究を実施。

滋 賀 県

市町競技施設整備費補助の開始

100,000千円

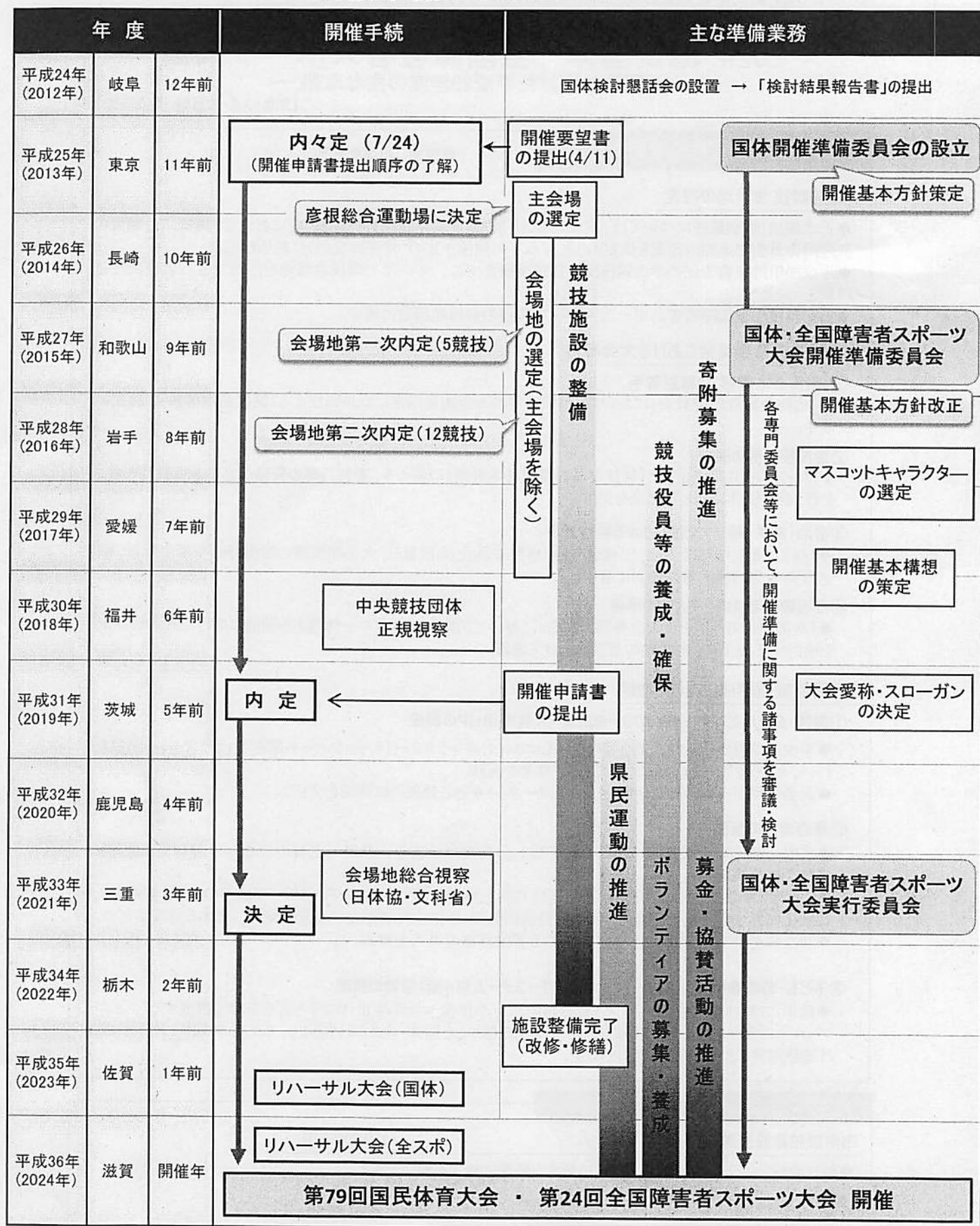
- ◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を開始。

基金の積立て 等

26,044千円

- ◆「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆さんからいただいた寄附金を積立てるとともに、一部を取り崩し、平成29年度に実施する競技力向上対策事業に充当。(H28年度末残高:約3,596百万円、H29年度事業充当 230千円)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備スケジュール



各競技会場地の内定状況について

○内定済み(第1次、第2次)

… 18競技(正式競技17、特別競技1)

○第3次内定(その1)(案)

… 9競技

(ホッケー、ハンドボール、軟式野球、弓道、スポーツクライミング、フェンシング、銃剣道、なぎなた、ゴルフ)

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市	(仮称)彦根総合運動公園陸上競技場	全種別	大津市
2	水泳	競泳					彦根市
		シンクロ					—
		水球					長浜市
		飛込					彦根市
3	サッカー		②H28.8.3	東近江市	布引運動公園陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場 総合グラウンド	成年男	水口町、甲西町
				大津市	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド びわこ成蹊スポーツ大学陸上 フィールド	女子	
				守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	少年男	
4	テニス		②H28.8.3	大津市	大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別	彦根市
5	ボート		②H28.8.3	大津市	滋賀県立琵琶湖漕艇場	全種別	大津市
6	ホッケー		③(その1)	米原市	県立伊吹運動場、米原市伊吹第 1グラウンド	全種別	伊吹町
7	ボクシング (隔年開催)						能登川町
8	バレーボール		②H28.8.3	草津市	草津市立総合体育館 野村公園体育館	成年男 成年女	近江八幡市、守山市
				近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	少年男	
				守山市	守山市民体育館	少年女	
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	栗東町
		新体操	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	少年女	—
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市	新県立体育館	成年男 少年男	大津市
				野洲市	野洲市総合体育館	成年女	
				草津市	野村公園体育館	少年女	

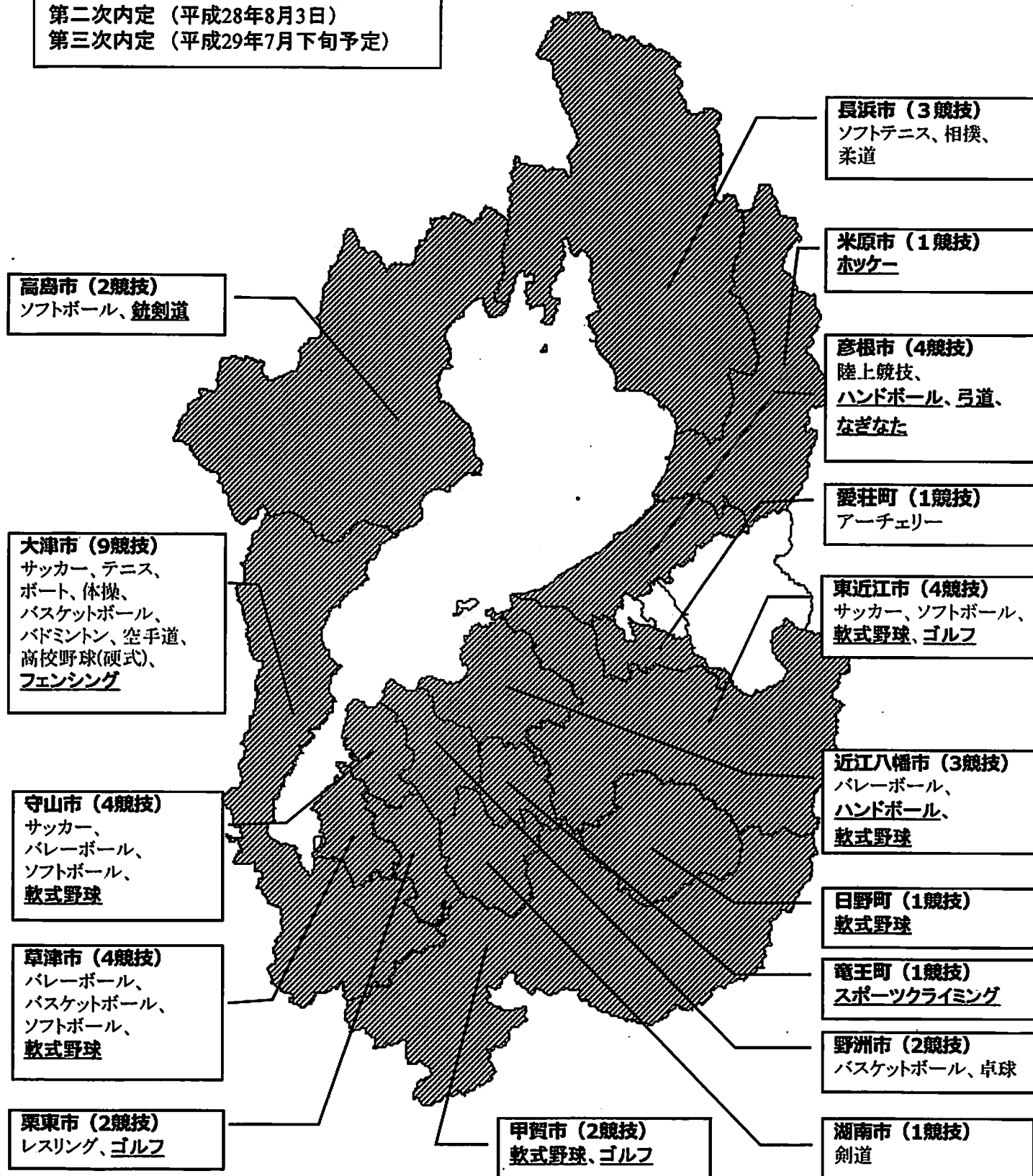
No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市	栗東市民体育館	全種別	甲賀町、信楽町
12	セーリング						大津市
13	ウエイトリフティング						安曇川町
14	ハンドボール		③(その1)	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター 県立彦根東高等学校体育館 県立彦根工業高等学校体育館 彦根グリーンアリーナ(彦根総合高校体育館)	全種別	彦根市
				近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	少年男 少年女	
15	自転車	トラック					大津市
		ロード					八日市市、蒲生町、日野町、 永源寺町、愛東町、湖東町
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市	長浜市民庭球場	全種別	長浜市
17	卓球		②H28.8.3	野洲市	野洲市総合体育館	全種別	草津市
18	軟式野球		③(その1)	近江八幡市	近江八幡市立運動公園野球場	成年男	近江八幡市、守山市
				草津市	草津グリーンスタジアム		
				守山市	守山市民球場		
				甲賀市	甲賀市民スタジアム		
				東近江市	ひばり公園湖東スタジアム		
				日野町	大谷公園野球場		
19	相撲		①H27.8.31	長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	全種別	日野町
20	馬術						栗東町
21	柔道		②H28.8.3	長浜市	木之本運動広場体育館	全種別	木之本町
22	ソフトボール		②H28.8.3	東近江市	布引運動公園多目的グラウンド	成年男	草津市、八日市市
				高島市	今津総合運動公園第2グラウンド	成年女	
				草津市	野村公園グラウンド	少年男	
				守山市	守山市民運動公園ソフトボール場・ 市民スポーツ広場	少年女	
23	フェンシング		③(その1)	大津市	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別	五箇荘町
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	大津市
25	弓道		③(その1)	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター	全種別	長浜市
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル					大津市
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市	湖南市総合体育館	全種別	今津町

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
28	スポーツクライミング	リード	③(その1)	竜王町	竜王町総合運動公園	全種別	高島町、志賀町、朽木村
		ボルダリング					
29	ラグビーフットボール						野洲町
30	カヌー	スプリント					大津市
		スラローム・ワイルドウォーター					
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町	愛荘町スポーツセンター 桑荘グラウンド	全種別	桑荘町
32	空手道		②H28.8.3	大津市	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別	湖東町
33	銃剣道		③(その1)	高島市	新旭体育館	全種別	今津町
34	クレ射撃 (隔年開催)						信楽町
35	なぎなた		③(その1)	彦根市	パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホール	全種別	—
36	ボウリング						—
37	ゴルフ		③(その1)	栗東市	琵琶湖カントリー倶楽部	成年男	—
				甲賀市	ベアズバウ ジャパン カントリークラブ	少年男	
				東近江市	名神八日市カントリー倶楽部	女子	
38	トライアスロン						—
39	高等学校野球	硬式	①H27.8.31	大津市	皇子山総合運動公園野球場	—	大津市
		軟式					彦根市

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

会場地市町内定状況 配置図

主会場決定 (平成26年5月26日)
 第一次内定 (平成27年8月31日)
 第二次内定 (平成28年8月3日)
 第三次内定 (平成29年7月下旬予定)



※ゴシック体で下線は、第3次内定(その1)(案)を表す。

国体・全スポマススコットキャラクター デザイン最終候補 投票受付中!

7年後の2024年に滋賀県で開催される国体と全国障害者スポーツ大会の開催PRに向けて、県イメージキャラクター「キャッフィー」とともに活躍するマスコットキャラクターのデザイン最終候補が決まりました!

この最終候補の中から、入賞作品を決定するにあたり、皆様からの投票を受け付けます!

【デザイン最終候補一覧】

A	B	C
		
カイツブリ+忍者	ビワコオオナマズ	近江牛+忍者
・頭には、琵琶湖に浮かぶハスの葉に隠れやすいように緑色の頭巾をかぶっています。	・キャッフィーと同じビワコオオナマズのキャラクターです。	・忍者衣装を身に着け、本来の力強さに加え、軽快さを兼ね備えています。

D	E
	
近江牛	信楽焼のタヌキ
・キャッフィーと同じユニフォームを着て、両大会を全身でアピールしています。	・近江牛の角がついた被り笠、鮎ずしの鮎、米(近江米)と書かれた帳面など滋賀の名産を身に着けています。

上の「デザイン最終候補一覧」の5点の中から、大会マスコットキャラクターにふさわしいと思うもの1点に投票してください。

【投票の方法】

(1) インターネットでの投票

- ・「しがネット受付サービス」で受け付けています。

URL: https://s-kantan.com/pref-shiga-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=4515

(2) はがきやメールでの投票

- ・下記の【送付・問い合わせ先】にお送りください。

【受付期間】

平成29年5月31日(水)まで(当日消印有効)

QRコード

(「しがネット受付サービス」にリンク)



※マスコットキャラクターは、投票結果を参考にして、開催準備委員会「広報・県民運動専門委員会」(平成29年6月開催予定)において決定します。

【送付・問合せ先】 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

滋賀県 国体・全国障害者スポーツ大会準備室 宛て

電話:077-528-3321(直通) / e-mail:kokutai@pref.shiga.lg.jp

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金
平成 28 年度 寄附実績について

1 寄附の実績 (H29. 3. 31 時点)

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	計
件 数	2 件	78 件	93 件	173 件
寄附金額	11, 000 千円	20, 066 千円	23, 320 千円	54, 386 千円

平成 28 年度実績 **23,320,277 円**

(「選手の育成および強化に要する経費」として寄附していただいた分のうち、募金開始から平成 28 年 11 月末までに収納した 230 千円については平成 29 年度に実施する競技力向上事業に充当)

2 内 訳

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	3 件	35, 000 円	
企業・団体	10 件	23, 122, 661 円	
イベント	12 件	107, 355 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金
据置き募金箱	18 件	29, 311 円	
その他	50 件	25, 950 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))、同グッズ売り上げ
計	93 件	23, 320, 277 円	(使途) 競技力向上 5, 290, 616 円 施設整備 18, 029, 661 円

ジュニア・ユースチーム 第4期生メンバー募集!



ジュニア・ユースチームとは?

滋賀での国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げるためのアイデアやスポーツに関することについて、毎年度、テーマを設定して、調査・体験活動を行い、自分たちの意見の表明や提案などに取り組むチームです。

ほくと一緒に活動してくれるメンバーを募集してるよ!

大会マスコットキャラクター「キャッフィー」



今回(第4期生)のテーマは?

『大会のPR大作戦』です!

対象:

小学5年生~20歳代前半

申込みしめきり:

7月7日(金)

★たくさんの人に知ってもらおう・広めよう!

動画制作?

SNSによる情報発信?

ホームページを作成?



効果的な手法をみんなで考えて、大会をPRしてみませんか。

『びわ湖放送』や『ご当地キャラ博in彦根2017』にヒントがあるかも・・・(^o^)

メンバー特典

回	活動予定 全9回 ※活動日や内容は変更する場合があります。	日程
1	結団式、仲間づくり活動	8/25(金)
2	PR活動についてのワークショップ TV局(びわ湖放送)での現場体験	9/18(月・祝)
3	『ご当地キャラ博in彦根2017』でのPR活動見学・調査 PR活動の決定	10/21(土) or 10/22(日)
4	PRコンテンツ制作活動(動画製作・webページ作成など)	11月上旬
5		11月下旬
6		12月上旬
7	成果物の仕上げ	1月下旬
8	活動のまとめ	2月中旬
9	活動報告会、解団式	3月中旬

「国体・全スポフレンド」として認定し、滋賀での総合開会式にご招待



国民体育大会
シンボルマーク

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会とは?

各都道府県の代表選手が出場する国内最大のスポーツの祭典です。毎年異なる都道府県で開催され、**2024年(平成36年)に滋賀県で開催**されます。



全国障害者スポーツ大会
シンボルマーク

(2) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

一金亀公園 ((仮称)彦根総合運動公園) 整備について

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-4]

1 これまでの経緯

- 平成 26 年 5 月 彦根総合運動場を国体主会場に決定
- 12 月 敷地拡張区域 (案) の公表
- 平成 27 年 3 月 公園整備基本構想の策定
- 8 月 公園整備基本計画の策定
- 平成 28 年 9 月 公園整備基本設計の取りまとめ ※別紙参照
- 12 月 金亀公園 ((仮称)彦根総合運動公園) 都市計画変更
- 平成 29 年 3 月 公園整備実施設計業務委託契約
第 1 種陸上競技場建築基本設計業務委託契約
- 4 月 金亀公園 (県施工区域) 事業認可

2 公園整備計画の概要

金亀公園 59.7ha の内、県施工区域 21.8ha

○運動施設

・第 1 種陸上競技場

収容人員：固定席 7,000 席程度と芝生席を含め 15,000 人程度収容

・第 3 種陸上競技場

・庭球場 (12 面、夜間照明灯設置)

・野球場 (存置)

○エントランス広場、緑の広場

○散策路やジョギングコース

○駐車場 (約 1,100 台)、駐輪場 (約 380 台)

○植栽、休憩所、便所など

3 公園整備計画の今後の予定

○公園整備実施設計…平成 30 年 2 月末までに取りまとめ

○第 1 種陸上競技場建築基本設計…平成 29 年 12 月末までに取りまとめ

引き続き実施設計に着手

○用地確保…平成 30 年 3 月末までに土地売買契約の締結

○既存施設解体工事…平成 29 年度下半期から解体に着手

○その他調査等…土質調査等を実施予定

背景

- ▶ 滋賀県彦根総合運動場を国体主会場の施設基準を満たす第1種陸上競技場を備えた公園として再整備するため、平成27年3月に公園整備基本構想を策定し、その後、平成27年8月に公園整備基本計画を策定。
- ▶ これらを踏まえ、公園整備計画の具体化に向け、各種設計条件との整合を図りつつ、特に彦根城の世界遺産の取組や地域活性化のほか防災機能の強化等にも配慮しながら、諸施設の設計指針を明らかにするとともに、施設配置や形状、基盤施設、植栽等について基本設計を取りまとめた。

公園のイメージ

◆体力・健康づくり、夢育ての場◆多様な主体の交流の場◆歴史・文化などとの触れ合いの場

公園整備の基本的な考え方

県民のスポーツ拠点として機能を強化するとともに、世代をこえて人々に長く愛着を持って利用される多様な機能を備えた公園として、彦根城をはじめとする周辺の景観などと調和を図りながら再整備する。

A: 国体開催を契機とした県民のスポーツ拠点としての機能強化

B: 国体開催後も世代をこえて人々に愛着をもって利用される多様な機能を備えた公園整備

C: 彦根城をはじめとする周辺の景観に調和した公園整備

基本設計の方向性(1) 運動施設の整備水準

- 第1種陸上競技場 ①トラック・フィールド: 400m×9レーン、フィールド内は多目的利用可能
②収容人員: 15,000人以上(芝生席を含む。)、固定席数: メインスタンドに約7,000席
③延べ床面積: 約23,000㎡ ④附属施設: メインスタンドおよびバックスタンドに屋根を設置、両スタンドの屋根に照明設備(照明柱は設置しない。) ⑤諸室: 更衣室、雨天走路、用器具庫、放送室、司令室、写真判定室、情報処理室、医務室、ドーピング検査室、ウェイト・トレーニング室、記者室など
- 第3種陸上競技場 ①トラック・フィールド: 400m×8レーン、フィールド内は多目的利用可能。
②附属施設: 管理棟
- 庭球場 ①競技用砂入り人工芝コート12面
②附属施設: 管理棟、スタンド(1,000人程度収容)、夜間照明灯設置
- 野球場 (存置: 現施設を継続して使用)

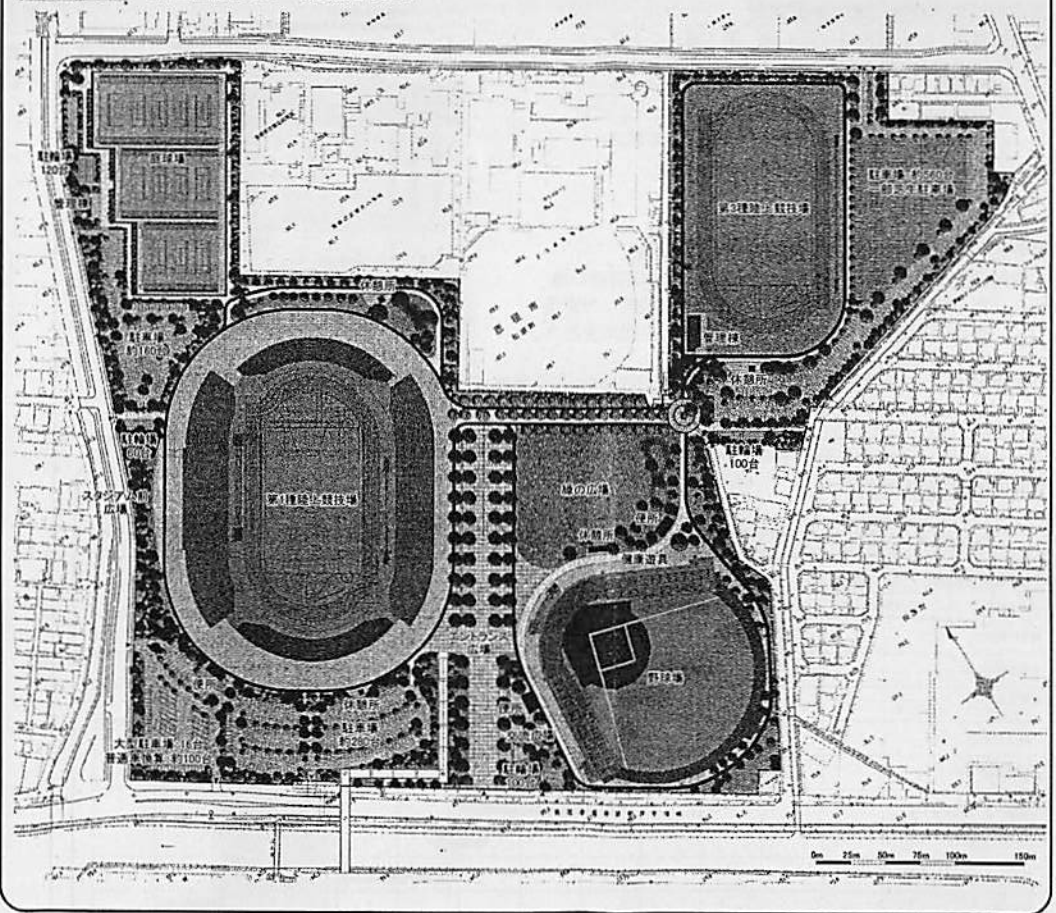
基本設計の方向性(2) 公園施設等

- 広場 エントランス広場や緑の広場などを配置。
- 園路 幹線園路(幹線園路幅15m程度以上、補助幹線園路幅6~3m)、散策路やジョギングコース(延長約2.5km)を配置。
- 駐車場・駐輪場 駐車場は約1,100台(一部芝生駐車場)、駐輪場は約380台を配置。
- 植栽 彦根山や玄宮園と連続する植栽、周辺の住環境に配慮した植栽、見通しのよい植栽。
- 休養・サービス施設 場内各所に休憩所(4カ所)や便所(運動施設利用者用以外に単独棟3棟)。
- 遊戯施設 県民の健康づくりを目的に健康遊具を検討。

基本設計の方向性(3) 機能強化ほか

- デザイン 周辺景観に調和したデザイン、色調とする。
- 住民参画 ワークショップでいただいたアイデアのうち、芝生駐車場や水景施設などを取り入れて検討。
- 防災 緊急輸送機能、緊急消防援助機能、避難・備蓄機能を備えた防災公園として設計(例: 第1種、第3種陸上競技場、野球場をヘリポート利用、一時避難所等)。10年確率降雨(時間雨量50mm程度)でも浸水しない地盤高で造成。
- 地域活性化・民間活力導入 整備段階: 滋賀県産材を活用したベンチ等の整備、周辺観光施設等を含めたサイン設置。
運営段階: 周辺のイベント(ご城下にぎわい市、ピワイチサイクルステーション等)との連携、スポーツ教室の開催、民間活力の導入(カフェ・サイクルショップ等)について引き続き検討
- 金亀公園との一体利用 金亀公園と一体的な利用ができるよう施設計画や役割分担を調整。連絡橋の配置や幅員等の概略検討を実施。
- 住環境に配慮した施設設計 建物の高さ抑制や、光害対策を施した照明器具、防犯に配慮した照明灯の設置等を計画、第1種陸上競技場の西側植栽地を拡張するとともに遮蔽機能向上のため盛土を検討。

基本設計図 公園面積21.8ha(現況約14ha)



エントランス広場から彦根城を望む

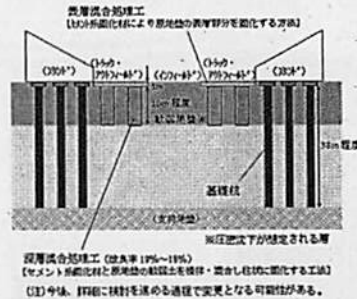
(仮称)彦根総合運動公園整備基本設計の概要

基本設計の方向性(4)地盤対策

○地盤対策 陸上競技場(第1種、第3種)のトラック・フィールド部分の地盤対策は、深層混合処理工法と表層混合処理工法を組み合わせる工法で実施。

第1種陸上競技場のスタンド建築部については、地盤調査の結果から38m程度の杭基礎を想定。

※今後、建築基本設計等において詳細に検討



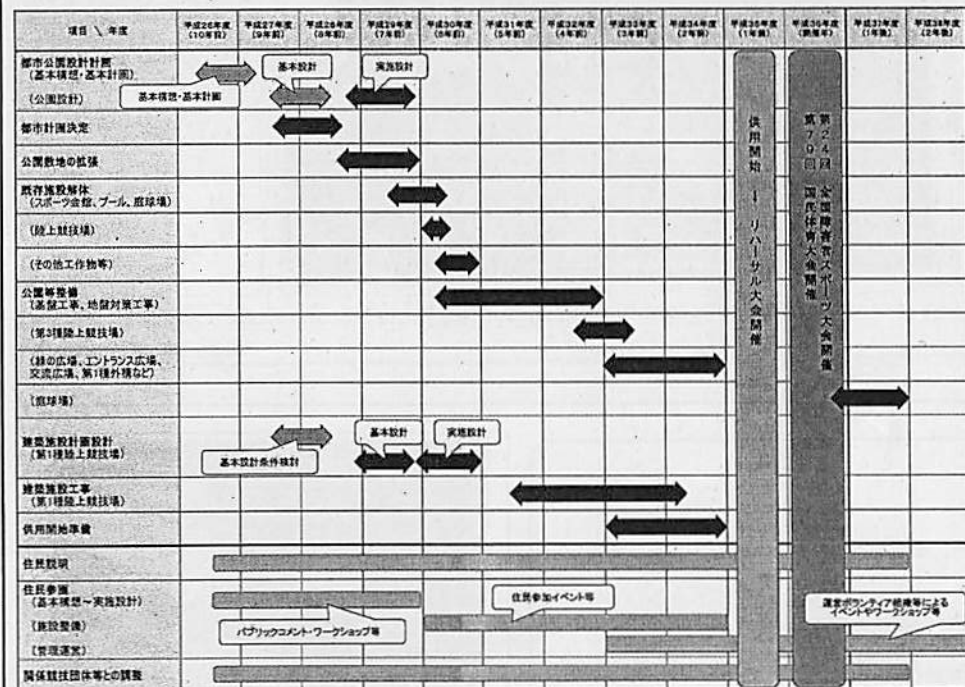
第1種陸上競技場における地盤対策イメージ

基本設計の方向性(5)段階的整備、工事計画

○段階的整備 先催祭の事例等を踏まえ、国体開催時の機能や規模、配置等を想定したうえで段階的な公園整備計画を整理。なお、庭球場は国体・全国障害者スポーツ大会の開催後に整備。

○工事計画 工事は安全を最優先とし、東側拡張区域から工事着手。第3種陸上競技場、第1種陸上競技場、緑の広場など公園部の順に実施。

公園整備スケジュール



第1種陸上競技場の設計にあたっての主な留意事項

第1種陸上競技場建築検討懇話会を開催し(全3回)、第1種陸上競技場の仕様や形状、デザイン等に関する留意すべき事項について、有識者の意見を踏まえて取りまとめた。

設計にあたっての主な留意事項

1 彦根城をはじめとする歴史的な景観との調和

- ①競技場の高さを抑えること。
- ②競技場の周囲を樹木で囲んでボリューム感を抑えること。
- ③彦根城との連続性を考慮すること。
- ④彦根城天守から見下ろした際に競技場が突出しないこと。

2 彦根城天守からの景観に配慮した屋根の構造

- ①景観上支障となる照明柱をなくすため、スタンド両側とも屋根を架設し、屋根先に照明設備を設置すること。
- ②スタンド全面に屋根を架設することで座席等を隠すなどデザインについて、十分検討すること。

3 周辺地域の景観や生活環境に配慮した照明設備

- ①照明柱は設置しないこと。
- ②両側スタンドとも光害の抑制が可能となる屋根先照明とすること。

4 周辺地域に馴染む色

- ①周辺地域の豊富な自然に溶け込む色とすること。
- ②明度や彩度を低く抑え、彦根城を尊重する色とすること。
- ③外壁や屋根だけでなく、フィールドや座席等、競技場全体の色彩に配慮すること。

5 自然素材の使用

- ①擬石や擬木より本物の素材(自然素材)をできるだけ使用すること。
- ②屋内仕上材等に県産材をできるだけ使用すること。

6 公園整備との整合性

- ①建築と公園の整合がとれた景観とすること。



彦根城天守からの眺望イメージ



第1種陸上競技場の鳥瞰イメージ

概算事業費

200億円程度の見込み(今後の公園整備実施設計や建築基本設計等の過程でさらに精査)

※内訳 第1種陸上競技場整備費 106億円程度
その他公園整備費、用地補償費等 94億円程度

(2) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

— 競技力向上対策について —

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-1]

1 これまでの取組経過

平成 26 年 12 月に滋賀県競技力向上基本計画を策定し、この基本計画に基づき県、県教育委員会、市町、スポーツ・障害者スポーツ、教育関係、経済産業関係、学識経験者など幅広い主体の参画を得て、総合的・計画的に本県競技力を向上させるために滋賀県競技力向上対策本部を平成 27 年 3 月に設立。平成 28 年 3 月に基本計画に基づく推進方策を示した競技力向上推進計画を策定した。これらの計画に基づき、競技力向上に取り組んでいる。

2 現状

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
開催県	67 回 岐阜	68 回 東京	69 回 長崎	70 回 和歌山	71 回 岩手
天皇杯順位	32 位	40 位	35 位	24 位	33 位
総合得点	819.0 点	763.83 点	810.5 点	940.0 点	888.0 点

3 平成 29 年度の競技力向上対策

【主な取り組み】

(1) 滋賀県競技力向上基本計画の改定について

基本計画で定めた準備期(平成 26 年～平成 28 年)が終了したことから、準備期の結果等を踏まえ、必要な改定を行う。

(2) 「2024 滋賀国体強化拠点校」の指定について

少年種別の競技力向上において、高校の運動部単位での強化が有効と考えられる競技について強化拠点校を指定し、集中的に競技力の向上を図る。

◇平成 29 年度指定校 21 校 35 部

◇平成 30 年度指定校 27 校 59 部

◇今後の予定 平成 31 年度までに、100 部程度を指定する予定

(3) 次世代アスリート発掘育成プロジェクトについて

県内の運動能力に優れた子どもたちを早期に見出し、各種育成プログラムを実施することにより、将来全国大会や世界大会で活躍できるトップアスリートを輩出する。

◇第 1 期生 36 名と第 2 期生 36 名の合計 72 名がプログラム修了。

うち 1 期生 9 名、2 期生 13 名が育成プログラムの競技体験を通じて出会った競技に本格的に取り組み始めた。

(フェンシング・ウェイトリフティング・アーチェリー・ボート・カヌー・ホッケー・陸上競技)

(4) ターゲットエイジ重点強化について

2024滋賀国体の時に、少年種別の主力となる年代（平成29年度の小学3・4・5年生）の有望選手を対象に強化事業を行う。

◇12種目が実施

（競泳、水球、ホッケー、体操、レスリング、ソフトテニス、相撲、フェンシング、柔道、バドミントン、カヌー、銃剣道）

滋賀県競技力向上基本計画（概要版）

（平成26年度策定）

目標

計画の着実な推進のためには、明確な目標の設定が必要と考えられることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を
●第79回国民体育大会における男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、以下の2点を目指します。

○平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県ゆかりの選手30人以上の輩出

○国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着

これらの目標達成に向けた取組を通じ、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。

課題

- 優秀な選手が県外に進学する
- 成年選手が競技を継続できない
- 明確な目標が選手に必要
- 女性選手の競技継続が難しい
- 障害者スポーツの選手確保

対策・取組

選手の育成強化

- ①ジュニア選手の発掘・育成・強化
- ②成年選手の育成・強化・確保
- ③オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援
- ④女性アスリートの育成・強化
- ⑤障害者スポーツの普及・選手の拡大

選手が伸びる

課題

- 指導者の高齢化・指導者不足
- 指導者の資質向上
- 組織的な指導体制の構築
- 女性指導者の不足
- 障害者スポーツの指導者不足

対策・取組

指導体制の充実

- ①指導者の確保
- ②指導者の養成・資質向上
- ③組織的な競技力向上の推進



滋賀県の競技力向上を図るには！

トップアスリート育成

オリンピック・パラリンピック出場

国体・全障大会 入賞

国体・全障大会 出場

全国大会 出場

近畿ブロック大会 出場

滋賀県予選突破

滋賀県予選大会 出場

県民総スポーツの祭典・県障害者スポーツ大会出場
競技スポーツに親しむすべての県民

課題

選手を支える

- 各競技の強化活動を効果的に行う必要がある
- 滋賀県の自然環境を活かした競技種目の重点強化が有効
- 選手の競技活動を支える環境の整備が必要
- 県全体で競技選手を応援する機運の醸成

対策・取組

強化拠点の構築・環境の整備

- ①強化拠点の構築
- ②施設の整備・競技用具の充実
- ③医科学サポート体制の整備

- ④選手・指導者の参加体制の整備
- ⑤交流・連携の促進
- ⑥広報を通じた県民の機運醸成



本県の競技力の主な現状

- 国民体育大会の天皇杯順位
〔平成25年度 40位、平成26年度 35位、平成27年度 24位、平成28年度 33位〕
- 全国高校総合体育大会 入賞数 22 全国中学校総合体育大会 入賞数 14 〔H28年度〕
- 滋賀県ゆかりのオリンピック・パラリンピック出場者数 リオ：14名

段階的目標

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年～
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	開催後～
長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木	佐賀	滋賀	
オリンピック パラリンピック	リオデジャ ネイロ		ピョンチャン			東京		未定		未定	

滋賀県競技力向上対市本部											
準備期			充実期			躍進期			天皇杯獲得		
強化拠点の構築			アスリートの育成			アスリートの実力向上			競技水準の定着		
指導者の確保			躍進期の選手育成を支える指導者の確保			強化スタッフ体制の確立					
国体目標点数：1,000点			国体目標点数：1,200点			1,500点 1,600点 1,800点 2,400点			1,200点		
国体目標順位：20位台			国体目標順位：10位台			10位以内 8位以内 5位以内 優勝			15位以内		
インターハイ入賞数：30			インターハイ入賞数：40			50 60 80 100			50		

平成30年度 強化拠点校

NO	競 技 名			H29～	H30～
1	陸上		男女	草津東高校	
				大津商業高校	
				彦根翔西館高校	
2	水泳	競泳	男女		草津東高校
		水球	男子		比叡山高校
3	サッカー		男子	長浜北星高校	
			女子	草津東高校	
4	テニス		男子	野洲高校	
5	ボート		男子	八幡商業高校	
			女子	光泉高校	
6	ホッケー		男子	瀬田工業高校	
			女子	大津高校	
7	体操	体操	男女	八幡商業高校	
			男子	伊吹高校	
8	バスケットボール		男子	伊吹高校	
			女子	栗東高校	
9	レスリング		男女	光泉高校	
			男子		八幡工業高校
10	ウェイトリフティング		男女	滋賀短大附属高校	草津東高校
			男子	栗東高校	
11	ハンドボール		男子	日野高校	
			女子	安曇川高校	
12	ソフトテニス		男子	堅田高校	
			女子	近江兄弟社高校	彦根翔西館高校
13	フェンシング		男女	立命館守山高校	彦根翔西館高校
			男子		長浜北高校
14	柔道		男子		立命館守山高校
			女子		長浜北高校
15	ソフトボール		男子		甲西高校
			女子	玉川高校	
16	バドミントン		男子		石山高校
			女子		比叡山高校
17	弓道		男女		近江高校
			男子		伊香高校
18	ライフル		男女		比叡山高校
			女子		伊香高校
19	剣道		男子	栗東高校	
			女子		水口高校
20	ラグビー		男子		大津商業高校
			男子		比叡山高校
21	カヌー		男女		滋賀短大付属高校
			男子		長浜北高校
22	アーチェリー		男女		大津高校
			男子		近江兄弟社高校
23	アイスホッケー		男子	水口高校	
			男子	草津東高校	
				35	24

滋賀県競技力向上基本計画の改定について

◆趣旨

滋賀県競技力向上基本計画は「滋賀県スポーツ推進計画」、「第79回国民体育大会開催基本方針」実施目標を具現化するための計画として平成26年12月に策定した。

計画では準備期、充実期、躍進期の段階的目標と目指す姿を示し、各期の終了後に見直しを行うこととしており、準備期（平成26年度～平成28年度）の取組等を踏まえ、基本計画の見直しを行う。

◆改定の概要

国体の開催基本方針が、平成27年8月に「第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に改められ、全国障害者スポーツ大会開催基本方針が新たに加わったこと、および準備期の取組の総括を踏まえ必要な改定を行う。

① 障害者スポーツに関する目標を追加

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針の改定にともない障害者スポーツに関する目標を追加

<参考>

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針 実施目標

(7) すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度に関わらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を上げるとともに、障害のある人もない人もみんなでスポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

② 3年間の競技成績を追加

平成25年度までのデータに平成26年度から28年度の3年間のデータを追加

◆改定のスケジュール

平成29年 5月8日 滋賀県スポーツ推進審議会 意見聴取

5月30日 滋賀県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会 意見聴取

6月 滋賀県競技力向上対策本部会議 意見聴取

※ 適宜、検討状況を議会に報告し、平成29年度の早い時期に計画改定

滋賀県競技力向上基本計画改定 主な見直し（案案）

◆滋賀県競技力向上基本計画の目標

現行計画	案案
計画を着実に推進するためには、明確な目標の設定が必要であることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を ・第 79 回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、 ・平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手 30 人以上の輩出 ・国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着 を目指します。これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。	計画を着実に推進するためには、明確な目標の設定が必要であることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を ・第 79 回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、 ・<u>第 24 回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を通じた障害者スポーツの普及・競技水準の向上、および障害者の社会参加や障害理解の促進</u> ・平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手 30 人以上の輩出 ・国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着 ・<u>障害者アスリートが国際大会などの上位大会を目指せる環境づくり</u> <u>を目標とし、</u>これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、<u>大会後も</u>県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。

◆充実期の目標…アスリートの育成、躍進期の選手育成を支える指導者の確保

充実期に目指す姿

現行計画	素案
◇強化拠点となった学校・地域などで育成強化活動が活発に行われるとともに、国体開催年に照準を合わせた年代対象の強化事業が行われるなど、戦略的なアスリート育成を図っています。	◇強化拠点となった学校・地域などで育成強化活動が活発に行われるとともに、国体開催年に照準を合わせた年代対象の強化事業が行われるなど、戦略的なアスリート育成を図っています。
◇指導者同士の意見交換・情報交換が活発に行なわれることで、技術面や戦略戦術面での資質を向上させるとともに、食事指導やケガの予防、メンタルトレーニングなどの知識を有した指導者を増やしています。	◇指導者同士の意見交換・情報交換が活発に行なわれることで、技術面や戦略戦術面での資質を向上させるとともに、食事指導やケガの予防、メンタルトレーニングなどの知識を有した指導者を増やしています。
	<u>◇障害者スポーツへの理解が進み、県内の障害者スポーツ大会に参加する人が増加し、全国障害者スポーツ大会への準備が整いつつあります。</u>

◆躍進期の目標…アスリートの実力向上、強化スタッフ体制の確立

躍進期に目指す姿

現行計画	素案
◇これまで育成してきたアスリートが、遠征試合や強化合宿を重ねることで、技術面・精神面での成長を遂げ、国体やインターハイにおいて上位に入賞するなど成果をあげています。	◇これまで育成してきたアスリートが、遠征試合や強化合宿を重ねることで、技術面・精神面での成長を遂げ、国体やインターハイにおいて上位に入賞するなど成果をあげています。
◇成年選手や指導者の雇用の受け皿を整えています。	◇成年選手や指導者の雇用の受け皿を整えています。
◇選手・チームのコンディショニングを支えるスポーツドクター、トレーナーなどのスタッフを組織化し、有効に機能しています	◇選手・チームのコンディショニングを支えるスポーツドクター、トレーナーなどのスタッフを組織化し、有効に機能しています。

◆継続期の目標…競技水準の定着

継続期に目指す姿

現行計画	素案
◇県内各地で選手強化活動が継続して展開され、安定した高い競技水準を維持しています。 ◇滋賀の子が、滋賀でスポーツを続け、全国大会等で活躍しています。 ◇成年選手にとって競技を継続しやすい環境を整えています。 ◇本県出身の選手が指導者やスタッフとしてスポーツに関わり、本県スポーツ推進を支えています。	◇県内各地で選手強化活動が継続して展開され、安定した高い競技水準を維持しています。 ◇滋賀の子が、滋賀でスポーツを続け、全国大会等で活躍しています。 ◇成年選手にとって競技を継続しやすい環境を整えています。 ◇本県出身の選手が指導者やスタッフとしてスポーツに関わり、本県スポーツ推進を支えています。 <u>◇障害のある人と共にスポーツを楽しむ共生社会が実現しています。</u>